

**株式会社HUMEDITとの  
資本業務提携に関する  
補足説明資料**

**2025年3月7日  
ジェイフロンティア株式会社  
【証券コード：2934】**

## ■ 株式会社HUMEDIT（以下、HUMEDIT社）グループと資本業務提携契約を締結

### 業務提携の内容

“HUMEDIT社の医療知見・ネットワーク・自由診療市場における強みを最大限活用し、成長戦略をより強固に”

#### 1 医療サービスの拡充と提供効率の向上

HUMEDIT社が有する医療分野の専門知識、当社が有するオンライン医療・薬配送プラットフォームを積極的に共有し、質の高い医療サービス提供

#### 2 海外事業領域の拡大

共に健康サポート等の新規サービスの拡充を図った上で、海外市場においても日本の質の高い医療サービスを提供

#### 3 収益基盤と企業価値の向上

資本とノウハウの共有により、持続可能な収益基盤を構築

#### 4 ユーザー体験の向上

オンライン診療、健康診断、サプリメント提供を一体化したシームレスなサービスをユーザーに提供

### 資本提携の内容

- ・ HUMEDIT社のグループ会社であるHUMEDIT SINGAPOREに対して5億円の株式を割り当て（自己株式の処分+新株の発行）



## ミッション（実現したいこと）

1 医療費などの社会保障費の増大

2 医療人材の不足・医療格差の拡大

健康寿命の伸長による医療費の抑制

医療機関のDX化による効率的・効果的な体制整備

## 目指す事業モデル

SOKU  
YAKU

会員データ  
治療情報



D2C  
(通販)

会員データ  
ヘルスケア商品



医療情報  
システム

電子カルテ  
電子処方箋  
電子お薬手帳

蓄積したデータを活用し、一人一人のステータスに合った診療や商品購入などのアクションをリコメンド

未病・予防期間の長期化、疾病期間の短縮化を実現する“SOKUYAKUヘルスケア経済圏”を創出

長期化

短縮化

未病・予防期間

疾病期間

セルフケア

健康食品  
漢方薬・化粧品

健康維持を支援

体調変化

症状検索  
病院・医師検索

診療・相談

オンライン診療  
AI診断  
医師ナレッジ相談

医療機関のDX化推進

治療

処方薬・OTC  
医薬品等の宅配

“SOKUYAKUヘルスケア経済圏”

## 資本業務提携に至った経緯

- 当社が目指す事業モデルの実現に向けて、事業・財務面での強固な連携パートナーを探索していたなか、HUMEDIT社の紹介を受ける
- HUMEDIT社の創業者である岡氏と当社代表の中村を中心に、資本業務提携について協議
- 豊富な医療専門知識と実績を有し、特に自由診療領域において高いノウハウを持つヒロクリニックを傘下に抱えるHUMEDIT社との資本業務提携は、当社の更なる成長加速に向けたパートナーとして最適と判断

## HUMEDIT社の概要

### 事業内容

- 各種検査（NIPT/NI-PGS/PCR）
- IT事業（システム開発、およびメンテナンス）
- 医療系サービス（開業支援/NIPT(FC加盟)/マーケティング）
- 物販（ネットショップ運営）

### 強み・特徴

#### 自由診療の中でも遺伝子検査に関する豊富な実績を誇る

- 60,000件以上のNIPT<sup>\*1</sup>の検査実績を保有
- 結果報告率が99.98%を誇り、結果は2～8日前後で報告
- 国内での検査をしており、検体輸送時の破損発生や輸送遅延による検体エラーの報告例はない
- 日本の主要都市で展開をしているヒロクリニックでは産婦人科専門医、臨床遺伝専門医、小児科専門医、精神科専門医など各種専門医が協力し診療
- NIPTをテーマにした代表 岡氏の書籍「妊娠したら最初に読んでほしい本 ～マンガでわかるNIPT(新型出生前検査)のすべて～」が2025/2/28に上梓

#### SEOを中心にマーケティングノウハウを保有



※

1 NIPT=妊婦の血液を用いて胎児の染色体異常の可能性を調べる検査。母体への負担が少なく、高精度な検査結果を得られることが特徴

## ■ HUMEDIT社の医療知見・ネットワーク・自由診療市場における強みを最大限活用

### 1 医療サービスの拡充と提供効率の向上

- ・ HUMEDIT社が有する医療分野の専門知識、当社が有するオンライン医療および薬配送プラットフォームを積極的に共有し、質の高い医療サービスを提供します

### 2 海外事業領域の拡大

- ・ 当社が足元より注力しているインバウンド対応機能の強化により訪日外国人にとってのSOKUYAKUの利便性を高め、ヒロクリニックを含むHUMEDIT社グループと共に健康サポート等の新規サービスの拡充を図った上で、将来的には日本国内だけでなく海外市場においても、日本の質の高い医療サービスを提供し、両社の市場シェアを拡大します

### 3 収益基盤と企業価値の向上

- ・ 資本とノウハウの共有により、持続可能な収益基盤を構築し、企業価値を高めます

### 4 ユーザー体験の向上

- ・ オンライン診療、健康診断、サプリメント提供を一体化したシームレスなサービスをユーザーに提供します

概要	金額	具体的な使途等
<p>SOKUYAKUシステムのアップデート</p>	<p>299百万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外注費に210百万円</li> <li>・ 採用費・人件費に89百万円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 内製化を進めるべく、開発責任者1名、開発担当者5名、運用保守担当者3名の体制を構築</li> </ul> </li> </ul>
<p>広告宣伝活動</p>	<p>178百万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2026年5月期までに78百万円、2027年5月期に100百万円</li> <li>・ 自由診療と保険診療の両領域での認知拡大を図り、より多くの患者に高品質な医療サービスを提供できる環境を整備</li> </ul>



質問	回答											
<p>1. 本スキームを選んだ理由は？</p>	<p>当社は、資本金調達手法のみならず、負債性調達手法を含めた様々な手法について検討を行いました。当社としては、既存株主の利益に配慮しながら、当社の資金ニーズを満たしうる、現時点における最良の資金調達方法であると判断いたしました。</p>											
<p>2. 第三者割当により流通株式比率が低下して、グロース市場の上場維持基準（25%以上）に抵触することはないか？</p>	<p>本件で割当予定の株式数は、流通株式数の計算の際に上場株式数から控除される株式に該当しないため、本件の第三者割当により流通株式数は増加する予定です。 2024年11月末の株主名簿をもとに本件の第三者割当による株式数の変動を加味した流通株式比率（当社試算値）は29.0%であり、グロース市場の上場維持基準には抵触しない見込みです。</p> <div data-bbox="561 721 1411 953" style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">流通株式数 =</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid gray; padding: 5px;">① 上場 株式数</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid gray; padding: 5px;">② 主要株主が 所有する 株式数 <small>(10%以上所有)</small></td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid gray; padding: 5px;">③ 役員等 所有 株式数</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid gray; padding: 5px;">④ 自己 株式数</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid gray; padding: 5px;">⑤ 国内の 普通銀行、 保険会社、 事業法人等が 所有する株式</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid gray; padding: 5px;">その他 当取引所が 固定的と 認める株式数</td> </tr> </table> </div> <p>出典：日本取引所グループ</p>	① 上場 株式数	-	② 主要株主が 所有する 株式数 <small>(10%以上所有)</small>	+	③ 役員等 所有 株式数	+	④ 自己 株式数	+	⑤ 国内の 普通銀行、 保険会社、 事業法人等が 所有する株式	+	その他 当取引所が 固定的と 認める株式数
① 上場 株式数	-	② 主要株主が 所有する 株式数 <small>(10%以上所有)</small>	+	③ 役員等 所有 株式数	+	④ 自己 株式数	+	⑤ 国内の 普通銀行、 保険会社、 事業法人等が 所有する株式	+	その他 当取引所が 固定的と 認める株式数		
<p>3. 希薄化の規模は？</p>	<p>本第三者割当増資により増加する株式数（処分する自己株式の数を含みます。）は 253,300株（議決権数2,533個）であり、2024年11月30日現在の当社発行済株式総数5,147,096株及び議決権数49,633個を分母とする希薄化率は4.92%（議決権ベースの希薄化率は5.10%）に相当します。</p> <p>しかしながら、当社は、本第三者割当増資による資金調達により調達した資金を上記「資金使途」のページに記載した各資金使途に充当する予定であり、これは今後の注力分野への投資を実現していくとともに、財務基盤の安定に資するものであって、中長期的な観点から当社の既存株主の皆様の利益に貢献でき、株主価値の向上に繋がるものと考えていることから、今回の第三者割当による資金調達に係る当社普通株式の発行数量及び株式の希薄化の規模は、株主価値向上の観点からも合理的であると判断しております。</p>											

## ■ 当社代表の中村は引き続き、大株主として当社の企業価値向上にコミット

主要株主	本件前 (2024年11月30日時点)	本件後
中村篤弘	46.03%	45.38%
株式会社篤志	19.43%	19.16%
HUMEDIT SINGAPORE PTE.LTD	-	4.85%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3.81%	3.76%
株式会社プレミアム・キャピタル・マネジメント	2.39%	2.35%

: 当社代表中村の持分 (資産管理会社含む)

: 本件割当先の持分



本資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。本資料における、業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、顕在化・潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、将来の経済環境の変化等の様々な要因により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行われるようお願いいたします。内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。無断転載はご遠慮ください。

“人と社会を健康に美しく”

